

## 講演会と見学会

### 【文化講演会】

東京青森県人会では、  
墨田区教育委員会の  
中山学先生を講師に迎え、  
講演会を開催します。  
テーマは

・本所弘前藩邸くすみだの歴史  
(発掘調査詳細の報告です。)

〔日時〕 6月8日(土)

十四時～十六時 二十分

(受付開始十一時二十分)

〔定員〕 百名(先着順)

〔参加費〕 千円(会場で)

〔会場〕 カメリア五階研修室

(亀戸文化センター)

(JR亀戸駅北口の明治通りを  
渡った線路際すぐ。)



〔申込みは、5月末までに〕

東京青森県人会事務局へ

TEL 03-5275 5091

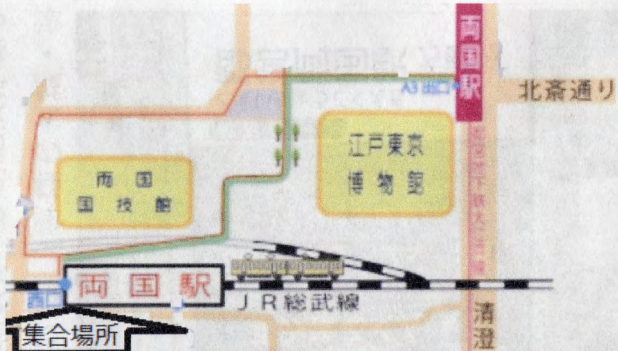
Fax 03-5275 5092

### 【見学会】

同8日の午前中に、  
周辺の見学会も開催します。  
(小雨決行、参加費無料)

〔集合時間〕 十時(厳守)

〔集合場所〕 JR両国駅西口



〔申込みは、5月末までに〕

東京青森県人会事務局へ

TEL 03-5275 5091

Fax 03-5275 5092

当日の連絡先

09096823125

(一戸)

~~~~~

主要ポイント(裏面略図参照)

1 回向院

・熊本藩士海難碑

(溺死四十七人墓)

・力塚

・鼠小僧の墓

2 松坂町公園周辺

・吉良邸跡

・芥川龍之介生育地

・同文学碑

・勝海舟生誕地

3 弘前藩上屋敷跡

・京葉道路(表門跡)

(本所寿座跡)

・緑町公園

(津軽の太鼓)

・江川太郎左衛門屋敷跡

(幕末の砲術家)

・野見宿禰神社

(横綱碑)

・北斎美術館建設地

・葛飾北斎生誕地

(ほくさい通り)

(ねふた運行)

4 三之橋

(黒石藩上屋敷跡)

5 錦糸町駅周辺

・津軽稲荷

・弘前藩中屋敷跡

(横川屋敷跡)

・錦糸町駅(旧本所駅)は、

津軽伯爵邸跡地に建設

6 亀戸天神周辺

・境内「寄念碑」

(藤林良司碑)

・西館弧清墓

(津軽家家令)

・弘前藩下屋敷跡

・竜眼寺(萩寺)

7 香取神社周辺

・亀戸大根碑

・「むつとの遭遇」会場

・亀戸梅屋敷



(参考) 弘前藩上屋敷跡

京葉道路の緑二丁目交差点の北西に、「陸奥弘前藩津軽家上屋敷表御門跡」と書かれた説明板(写真)が、墨田区教育委員会によって、昨年九月建てられた。説明板には、弘前図書館所蔵の表門図も転写されている。門の幅は14 m程で、左右両脇には、出格子窓のついた門番所があったという。



弘前藩上屋敷表御門跡 説明板

弘前藩の上屋敷は、1688年に神田小川町から、本所一丁目(現、墨田区緑町2丁目、亀沢2丁目)へ移転を命ぜられ、幕末まで移転しなかった。

一代目広重が江戸の正月風景を描いた「本所の勝景」には、背景として弘前藩上屋敷が大きく描かれている。

上屋敷の敷地は、東西110 m、南北240 mの広大な長方形だった。敷地は、京葉道路を南端に、現在のみどり図書館、

総武線を超えて、北端は緑町公園にあたる。コミュニティバスの「緑町公園」停留所には「津軽弘前藩上屋敷跡」と付記されている。



そこには、「津軽の太鼓・津軽家上屋敷跡」の説明板が建っている。ここでは、15年度開館を目指して、北斎美術館を建設中だ。発掘調査では、江戸初期の本所の歴史を伝える遺跡も発見された。また、公園では、ねぶた運行や金魚ねぶた作りの講習が、毎年行われている。



さらに、公園の東には、野見

宿禰神社(相撲神社)がある。歴代横綱の碑には、青森県出身横綱の名が6人並んでいる。ここは、上屋敷の北東角にあたる。なお、現在の墨田区内には、弘前藩の中・下屋敷、黒石藩の上屋敷もあった。

(東京と青森 13年4月号から)

周辺略図

(見学会ではコース一部割愛)



(数字は表面のポイント番号と対応)